

JR 西日本グループの「バーチャル大阪駅 3.0」に エンタメと ICT を組み合わせた新たな価値を提供し、集客拡大に貢献

BIPROGY は、JR 西日本グループと JR 西日本グループが展開するスマートフォンメタバース空間「バーチャル大阪駅 3.0^(注1)」で、アイドル育成プロデュースゲーム『あんさんぶるスターズ!!^(注2)』のコラボレーション企画を実施しています。

「バーチャル大阪駅 3.0」では、『あんさんぶるスターズ!!』の巨大ジャックブースを設置しており、連動企画としてリアルの大阪駅においてもポップアップショップでのコラボグッズの販売などを行っています。本企画を通して、「バーチャル大阪駅 3.0」のさらなる認知拡大とバーチャルとリアル双方での新たな価値の提供を目指します。

【背景】

JR 西日本グループは、2022 年からリアルな駅をバーチャル上に拡張する試みとして、「バーチャル大阪駅」の構築に取り組んできました。2024 年 3 月から新しい価値共創フィールドとして「バーチャル大阪駅 3.0」を展開し、新たな価値創出に挑戦しています。

若年層を中心に多様な年齢層や国籍のユーザーが交流するフィールドは、現代のコミュニケーションツールとしてトレンド化しており、幅広い層に人気の『あんさんぶるスターズ!!』とのコラボ企画により、「バーチャル大阪駅 3.0」にこれまで接点のなかった層への認知度向上、集客拡大を図ります。

【概要】

2025 年 2 月 26 日から 3 月 26 日まで「バーチャル大阪駅 3.0」に『あんさんぶるスターズ!!』の巨大ジャックブースを設置します。バーチャル空間上では、記念撮影ができるフォトスポットを設置します。リアルの大阪駅では連動企画として『あんさんぶるスターズ!!』の先行販売グッズなどが買えるポップアップショップや、オリジナルグッズが当たるイベントを開催します。



©2014-2019 Happy Elements K.K

「バーチャル大阪駅 3.0」『あんさんぶるスターズ!!』巨大ジャックブースイメージ

【今後の取り組み】

BIPROGY は、エンタメ領域の知見を生かした企画力と、お客さまの持つアセットの魅力を掛け合わせ、お客さまのビジネス拡大に貢献します。

今後もエンタメ領域の取り組みを通じて、ICT とエンタメを組み合わせた体験の提供など、新たな価値の創造と社会課題の解決に取り組んでいきます。

以上

注1：「バーチャル大阪駅 3.0」

「バーチャル大阪駅 3.0」は、スマートフォン向けメタバース「REALITY」上に構築されたリアルな大阪駅を再現・拡張したメタバース空間です。2024年3月に開業した本空間は、2025年2月現在累計で2,700万人以上の方が来場しています。「REALITY」では多くの方がライブ配信を行っており、「バーチャル大阪駅 3.0」上でもさまざまな国・地域の方がライブ配信をお楽しみいただいています。

注2：『あんさんぶるスターズ！！』

『あんさんぶるスターズ！！』は、Happy Elements 株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役：新井 元基氏）が企画・開発・運営事業を展開する個性豊かな男子アイドルたちを育成プロデュースするスマートフォン向けゲームアプリです。ストーリーとカード集めを中心に手軽に楽しめる『あんさんぶるスターズ！！Basic』、本格派リズムゲームで豪華3D演出のMVを心ゆくまで楽しめる『あんさんぶるスターズ！！Music』の2つのアプリで展開しています。

■関連リンク：

「バーチャル大阪駅 3.0×あんさんぶるスターズ！！」に関する取り組みは、公式 Web ページにて公開しております。

「バーチャル大阪駅 3.0」公式 Web

<https://www.jr-odekake.net/navi/virtualosakastaion/>

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/

Vision2030

わたしたちは、デジタルコモンズを
誰もが幸せに暮らせる社会づくりを推進するしくみに育てていきます

私たちは志や共感をベースに持続可能な社会の実現を可能にするために、
さまざまなサービスやノウハウをデジタルの力でつなぎ合わせ、
社会の共有財であるデジタルコモンズとして創造し、提供していきたいと考えています。
その実現に向けて、ビジネスエコシステムのパートナーと共に
多様な業界、業種、マーケットの視点から社会に貢献することにより、新たな価値やマーケットの創出につなげていきます。